

和の風 町長随想 増澤善和

「道州制」をどう修正

道州制導入の議論が活発になされるようになった。道州制とは何か。今年、地方制度調査会・道州制ビジョン懇談会などは、十年後までに導入すべきと答申。その案は

①道州制の理念と目的

- ・中央集権型国家から分権型国家へ（地域主権型）
- ・繁栄の拠点の多極化と日本全体の活性化
- ・効率的・効果的行政と責任ある財政運営
- ・国家戦略・危機管理に強い中央政府と国際競争力をもつ自立した道州政府の創設（日本の再生）

②道州制の区割り案

- 各調査会が出している案を、福井県を中心に見ると
- A案ー中部州（全国十道州）
福井・石川・富山・岐阜・長野・三重・愛知・静岡の八県、人口は約二千万人、予想州都は名古屋市。
 - B案ー北陸州（全国十二道州）

福井・石川・富山の三県、人口は約三百万人、予想州都は金沢市。

C案ー北陸州（全国十一道州）

福井・石川・富山・新潟の

四県、人口は約五百五十万人、

予想州都は富山市。

D案ー近畿州（全国九道州）

福井・滋賀・京都・大阪・

兵庫・奈良・和歌山の七府県、

人口は約二千二百万人、予想

州都は大阪市。（関西州とも）

（予想州都は筆者の推定）

これらの区割り案を見てい

ると、福井県や南越前町の歴

史的な行政区割りの変遷を連

想させる。その歴史の変遷は

◎古代から江戸時代

継体大王時代の古代には「越の国」と呼ばれ、若狭の国に接する敦賀から石川・富山・新潟の各県を含めた巨大な国（道州制C案に似る）であり、武生に国府（州都）があった。しかし、あまりにも大きいので六七〇年頃に越前（福井・石川）・越中（富山）・越後（新潟）の三国に分割された。その後、

越前国から能登国（七一八年）と加賀国（八二三年）が分離独立した。この越前は千年後の明治維新まで続いた。

◎明治以後

明治初期の約十年間、県域は猫の目のように変化した。まず明治四年七月の廃藩置県により、福井・鯖江・小浜など十の藩が入り乱れるように各県となる。その四か月

後、足羽・丹生郡以北を福

井県（一か月後に足羽県と変

名）に、南条・今立郡以南は

（現在の南越前町を含めて）

敦賀県になる。更に、明治六

年一月に足羽・敦賀の両県が

合併して新敦賀県（現在の福

井県とほぼ同じ形）となり県

庁は敦賀に。この時代に、「木

ノ芽嶺（峠）以北」と「以南」

の言葉が使われはじめ、略し

て「嶺北」「嶺南」と呼ぶよう

になった。この敦賀県も三年

半位で、明治九年には、嶺北

は石川・富山と合併し、古代

の越の国に似た（道州制C案

に近い）大石川県に、嶺南は

滋賀に併合され、再び今の福

井県の形は姿を消した（現在

の南越前町は両県の県境とな

る）。更に、明治十四年二月

に嶺北は石川県から分離し、

嶺南を滋賀県からもどして再合併し、名実共に現在の福井県がスタートした。しかし、この合併は、自然・風土・歴史などから嶺南住民が猛反対し、滋賀県にもどる運動をおこした。現在の嶺南の首長や議員も、道州制D案の近畿州に入ることを望む人が多い。

「歴史は繰り返す」という諺

もあるが、古い時代からの行

政区割りの動きをみると、新

しい道州制で「北陸州」に入る

か、「近畿州（関西州）」に入る

か、また絶対してはいけない

と思うが嶺北と嶺南が分県し

て別々の州に入るか、福井県

は歴史的・地理的にむずかしい

立場にあることは事実である。

③道州制と地方分権

道州制の目的は地方分権の

確立であるが、これは州の独

立制の強いアメリカ合衆国を

手本のひとつとしているよう

だ。しかし、アメリカの五十

州の中には福井県より小規模

の州もある。福井県の人口

八十三万人より少ない州はワ

イオミング州（四十九万人）

の他五州、県の総生産額三・

三兆円より少ない州はパーモ

ンド州（二・四兆円）など五州あり、立派に分権独立している。小福井県でも地方分権の確立はできるはずである。地方分権の受け皿と道州制は別の議論であろう。アメリカは開拓者達が小独立国を造ったが、外国との対立から強国をめざして合衆国を建国。日本の道州制論とは発想が逆。

④住民の活動圏と道州制

交通の便が良くなって住民の活動圏が広がったので、県の枠を拡げるのが道州制だとの説明だが、これは東京・大阪などの大都会の実感。例えば、東京・神奈川・埼玉・千葉の間での越境通勤通学者は二十%だが、福井県は1%未満。隣県と合併の必要性なし。

⑤おわりに

福井県・南越前町、どちらの立場でも道州制は急ぐべきでないし、区割り案・内容も修正すべきである。世論調査（全国・県）でも反対や修正論が多い。西川知事も中央公論七月号「幻想としての道州制」の中で「道州制は単なる期待論なので反対。」と論破されているので、全国知事会での活躍を期待したい。